

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		デイズサポートBell			公表日 令和8年2月12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		法令は順守されているが、活動内容によっては狭さを感じる。活動によっては体育館やグラウンドを借りれ行っている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		十分な人数が配置されている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>	バリアフリー化されておらず、構造上リフォームも難しいと感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		掃除や消毒など細目に行っている。 学習をしている横で遊んでいたりが子どもたちは孫環境に慣れてきている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>	現状、部屋数の関係で完全な個別対応は難しいが、必要に応じてパーティションで仕切って行っている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		<input type="radio"/>	勤務時間の関係上パートを含めた全職員がPDCAサイクルに参画することは難しい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者向け評価表は、職員がいつでも把握できるようにしてある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		朝礼で職員間の意見を出せる場があり、コミュニケーションも取れている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は行っていない。スタッフから業務に関する意見を集約し事業所全体での仕組みづくりに活かせるように努めている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		随時研修等に参加できる環境を整えている。 事業所内では今後STによる研修を計画している。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページ上で公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		見学や契約時、面談時に保護者様からの聞き取りとお子様との関りの中からアセスメントを行い、放課後等デイサービスの計画に反映させている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		ミーティング内でお子様の様子や課題について共有する時間を設け、その内容を放課後等デイサービス計画案に反映させている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		案会議を通して計画を見直し、日々の療育活動につながるように共有している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		<input type="radio"/>	標準化されたアセスメントツールは使用していない。日々の行動観察などから情報を職員間で話し合いながら記録し、全スタッフが確認できるような仕組みを整えている。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>	ガイドラインに明示された項目を設定し、お子様の強味を活かして取り組めるような支援内容を設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>	立案は個別で行い、打ち合わせの中で意見を出し合っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>	お子様からやりたい活動について意見をもらったりしながら固定化しないように工夫している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>	5領域の内容と照らし合わせながら、お子様に合わせた支援内容をしている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>	当日出勤の職員間で打ち合わせを行い、活動内容や役割分担、お子様の情報について共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>	当日は送迎等で難しいため翌日に行い次回に活かせるようにしている。振り返りの内容をファイルに綴り全スタッフが確認できるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>	他の職員に確認を取りながらリーダーが主に記録を取っている。共有フォルダに入っているので全職員が
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>	年2回のモニタリング時にアセスメントシート内容も定期的に見直しをしており職員間で共通認識を持って取り組める仕組みを整えている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>	毎日様々な活動を人数、年齢、その都度必要と思われる活動内容をバランスよく計画しながら行っている。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>	活動内容を説明し、選択肢を提示したり、子供たちが主体的に参加できるような活動を作ったりしている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>	現状、児童発達支援管理責任者が参画しており、子どもの様子を伝えている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>	児童発達支援センターが主催する研修を受講し、地域の学校や保育園等の情報収集に努めている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>	送迎時や担当者会議などで情報共有している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>	該当者なし
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>	該当者なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>	地域の児童発達支援センターとの連携は行っていない。

運携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>	児童クラブや児童館との交流は出来ていないが、他事業所との合同療育は定期的に行っている。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>	現状では参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	毎回利用時に連絡帳にて子どもの様子をお伝えしている。また送迎時にも時間がある際は様子をお伝えしたり、年2回の面談では課題等についても話をしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	来年度は保護者向けの研修会や講演会を計画している。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	契約時に通所の必要な情報や利用負担額について話をしている。情報量が多く1度では理解が難しい場合は面談等で繰り返し伝えるようにしている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>	放課後等デイサービス計画は、面談時に聞き取りした情報を参考にニーズを洗い出し職員のアセスメントと擦り合わせて原案を作成している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>	支援内容についてご確認いただき同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>	お電話やメールでご相談を受けた場合は丁寧に相談に応じるように努めている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>	面談時、保護者会の開催についてアンケートをとったところ、保護者会はなくてもよいとの意見が大半であったため開催していない。今後保護者同士の交流が出来る機会を作る必要性も考えている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>	苦情やご意見があった場合は迅速に対応するようにしている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>	毎月お便りを出し、活動内容や子どもの様子などお伝えしている。またホームページにて活動の様子を載せている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>	お子様の情報については事前に保護者に同意を得ている。書類に関しては鍵付き書庫に保管している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>	来所持や送迎時に情報共有を行うことに加え、保護者の状況に合わせて重要度の高い内容や期日が迫っている内容はお電話をするなど、情報伝達に抜けが無いよう努めている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>	事業所主催の行事は行っていない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>	年間に決められた研修、訓練は行っている。 マニュアルは毎年見直し、職員にも周知している。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>	BCPは策定しており、訓練等も行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>	契約時にお子様の状況を確認している。

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>	契約時やその都度アレルギーの有無を確認し、全職員に周知している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>	訓練時には安全管理には十分気を付けながら支援をしている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>	面談等で子どもの安全確保について話をするようにしている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>	ミーティング内でヒヤリハット件数等に関する振り返りを行い危機管理への意識を向上するようにしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>	毎年研修を行い、賞金同士が日々の行動や言動を点検し合いながら、虐待防止に努めている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>	事業所内では、やむを得ない場合（他児の安全に関わる場合など）を除き身体拘束は行わないことを保護者にも説明しており、実際身体拘束は行われていない。